

る、ナイアンティック社では、今後追加するポケストップの数については未定であり、各県レベルで協議をしながら考えていき、誰が申請してもらうかなどの具体策はこれから検討すると答えています。

次に、ポケストップなどを増やすことによる集客については、都会には数え切れないくらい多いポケストップがあり、原状では地域限定要素がなく、どこにいても同じポケモンが獲得できるので、遠方からわざわざ八百津町に来る必要がありません。また、八百津町とポケモンGOを結び付ける理由がなく、長期的な観光施策に結び付けていくことは困難だと考えます。

また、現状の問題として、深夜徘徊、ゴミ問題、歩きスマホ、運転中のプレイなどがあり、マナーの悪いプレイヤーに因って浅草、上野公園など多くの場所で、全面禁止区域も出来ています。先日お台場交差点に珍しいポケモン（ラプラス）を捕獲しようとして400人が殺到、大混乱になり、警視庁が運営会社に異例の指導を行う状態となりました。八百津町においても実際に、深夜に子ども達が集まっていると、青少年健全育成の立場から心配する声も上がっています。

以上のことから、ポケストップ・ジムの増設について町へのメリットはあまり見込めないと

考え、観光に結び付ける予定はありません。観光行政については柔軟な思考力を持って、今後さらに取り組んでいきたいと考えています。



山田 勉 議員

Q1 人口減少問題と対策について

人口減少問題

問 岐阜県の人口は2005年頃から減少を続けており、2040年には158万人となり、約50万人もの人口が減少すると考えられている。このことは、地域を支える世代の大幅な減少を意味している。

八百津町においても、2040年には、推計で7235人と見込まれ、2010年の1万2045人から約40%減少することとなる。そこで、こうした人口減少問題を考えるとき、職員の定数をどのようにしていくのか、また、行政改革、機構改革をどのようにしていくのか何う。

答 (各務秘書室長)

人口と職員数については、明確な定員基準はありません。総務省では、出張所や保育所直営事業などの地勢条件や財政状況などの社会経済条件、あるいは地域住民の行政に対する要望や施策の選択肢など様々な要因、いわゆる「行政需要」を考慮し定数を定めることと示されています。

八百津町職員の定数削減は、昭和60年度から始まり「第1次行政改革大綱」の中で「第1次八百津町定員適正化計画」を策定し、電話交換業務や給食センター調理員などの民間委託、そして事務のOA化や組織の見直しなどにより定数の削減に取り組み始めました。現在は「第3次八百津町定員適正化計画」に取り組んでいるところです。第1次計画作成当時の状況は、国勢調査人口1万5215人に対し職員数は1933人でした。このため、目標人員を1766人に定め、以降第2次計画の目標人員では、163人、そして、第3次計画の終了年度の平成35年までの目標人員では、160人と定め計画的な削減を進めています。八百津町職員の条例定数は、平成17年3月の条例改正により、それまでの185人から165名と改め、現在の職員数は派遣職員2名を含む163名となっています。第3次計画では、社会

情勢の変化や住民ニーズの把握に努め、事務量が增大する中でも、住民サービスの低下を招かないための配慮を行っています。また、これから職員の年代別構成や今後10年間に39人が定年退職する実情を踏まえ、適正な職員配置や行政運営を考慮しながら、職員の減少数も抑えている状況です。

次に、行政機構改革（課の再編）につきましては、行政需要の高まりとともに増大する事務量、また、地方創生による各種事業の重要性などを鑑み、必要に応じた組織の変更や事務分掌の見直しなどを図り、効率性の高い組織を構築するとともに、職員の意欲や能力を最大限に引き出し、組織を活性化させる人事制度の一層の充実と人材育成を積極的に進め、地域の特性に応じた行政運営に努めてまいりたいと考えています。

問 人口の減少による保育園の経営について、今後の方針をどのように考えているか何う。

答 (金子町長) 現在町では、潮南保育園を平成26年度から休園としているため、公立保育園3園と私立保育園1園が運営を行っています。昨年来、保育園は統合の議論もしてまいりましたが、地域と密接な関係があり現状維持が望ましいと考えているところです。さて、議員ご指摘のとおり、

総人口の減少とともに保育園児も相当減少するものと見込まれています。町としては、人口減少にともない行財政改革を今以上に推進し、町職員数や課の設置数など組織の見直しをする必要が出てくるものと考えています。税収等の歳入が減少すれば、当然、分相応の行政を行うこととなります。民間である和知保育園についても、入園者の減少が進めば経営に影響があるかもしれません。こうした想定を踏まえ保育園児が減少してもサービスが低下しないように、また行政の効率化を図れるように、私立保育園の経営者の方とも連絡を密にし、施設の適正配置や職員数の適正化に柔軟に対応し、保育園運営に努めてまいりたいと考えています。

Q2 児童・生徒会サミットの継続について

児童・生徒会サミット

問 八百津町青少年育成町民会議主催の児童・生徒会サミットについて、杉原千畝氏の人道の町として誇れるこのような行事を今後も継続して実施してもらいたいと思うが、教育長の考えを伺う。

答 (堀部教育長) 児童生徒会サミットは、「安全で安心して学ぶことができる